



学校だより



2023年 1月 27日

横浜市立港南台第一小学校

2月号



Email y3konan1@edu.city.yokohama.jp Tel 832-0210 Fax 832-7771

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/konandai/>

「ドキュメント職員室」

副校長 竹端 岳

NHK「ドキュメント72時間」は、毎回ある施設にスポットを当て、訪れる人々にひたすらインタビューをする番組です。訪れる理由は様々で、対話を通してその方の思いやこれまでの生き様が明るみになり、それぞれの人間模様を描いています。年末には恒例の視聴者ベスト10が発表され、反響が大きかった回をもう一度視聴できることになっています。

2022年の第1位は、「どろんこパーク」雨を走る子どもたち」というタイトルで、川崎にある野外遊び場の3日間を取材したものでした。手作りウォーターライダーで水たまりに次々と突っ込んで泥だらけになって遊ぶ子たち、サッカーのルールをめぐって友達と意見が合わなかったものの、話し合いを通して解決し仲よく遊ぶ子たちなど、子どもたちの生き生きとした様子が映っていました。

一方で、通っている学校に馴染めなかったり、クラスでいじめを受けたりしたのちに、居場所を求めてやってくる子がいました。いじめの過去をさらっと話すも、自分のこれからやりたいことを熱く語る13歳は、その遊び場ではリーダー的な存在でした。また、仲間とは遊ばず黙々と工作に取り組む小学2年生と、彼を「天才」と称する見守りボランティアの男性、そして迎えに来た母の思いを尋ねたインタビューは胸にこみ上げるものがありました。

学校にはない安心感、居心地のよさがその遊び場にはあるのでしょうか。SDGsの理念である「だれ一人取り残さない」学校づくりのために仕事をする人間としては、心を揺さぶられた今回の放送でした。

さて、仕事上、職員室にすることが多い私ですが、「職員室の72時間」もなかなかのドキュメンタリーです。週明け早々、上履きを忘れてばつが悪そうに来室する子、タブレット端末が不調で相談に来る先生、校門近くの花壇の整備のために来られるボランティアの方々…。そのほかにも保育園・幼稚園児、地域の方々、工事、配送の業者など、電話を含めると実に多くの来室・来客対応があります。

先日は個別支援学級の児童が、港南台中央公園で火おこしの仕方を教わった帰りがけに職員室を訪ねてやってきました。育てたサツマイモを焼くために木の枝がたくさん必要と学んだ子どもたちは、たまたまその週に行われていた学校敷地内にある樹木の枝の刈込を目にして「切って落ちた枝を使えないかな。」と考え、お願いに来たのです。偶然の重なり、生活に根差した学習、代表児童の丁寧な言葉遣いに感動し、枝の使用を快諾しました。

副校長は学校の中で最も多くの方とかかわれる職です。一つひとつに対して多くの時間は取れないかもしれませんが、訪れた方の思いを感じ取りながら応対していきたいと思えます。

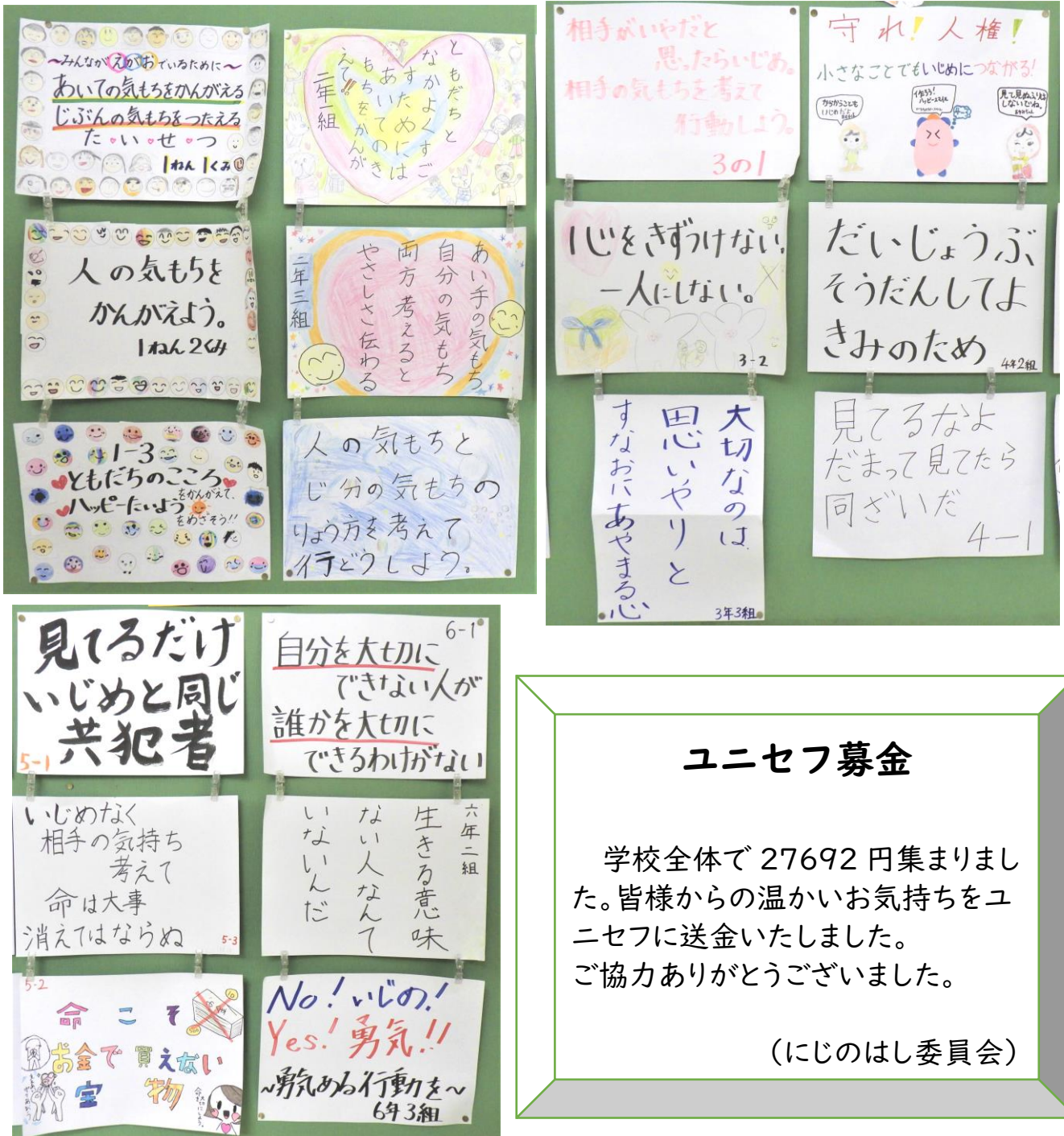
人権教育 人権キャラバンを実施しました



本校では、人権教育テーマ「誰もが、安心して、豊かに生活できる」を視点に、すべての子供が自尊感情をもち、高められるような取り組みを進めています。今年度も人権教育の一環として、命の尊さや思いやりの心などの人権意識を養うことを目的として、人権擁護委員会から委員の方が数名来てくださり、児童に直接語りかける「人権キャラバン」を実施しました。

当日は、体育館で話を聞いた後、学級でふりかえりました。大人の話聞くだけでなく、学級で振り返ることで、友達の感想や考えを聞き、いろいろな人の感じ方を学ぶ良い機会になりました。

子どもたちが話を通して感じたことや考えたことを今年は、「標語」にまとめました。それを、5組前の廊下に掲示しました。多くの児童が立ち止まり、それぞれの学級で考えた「標語」を読んでいた。「あいて」や「なかよく」などの言葉を中心に、心に響く標語ができました。学年による、成長を感じられるところもありました。



ユニセフ募金

学校全体で 27692 円集まりました。皆様からの温かいお気持ちをユニセフに送金いたしました。ご協力ありがとうございました。

(にじのはし委員会)



港南台第一小学校 重点研究テーマ

「情報活用能力を生かし、問題解決する子どもの育成」

～タブレット端末を効果的に活用したデザイン～



本校では、今年度から GIGA 端末（授業用 iPad）の授業を研究しています。昨年度から使い始めた「新しい文房具 iPad」を、教員も児童もさらに有効な使い方ができるように研究を始めました。授業の様子を教員同士で見合い意見を交わしたり、講師を招いて授業の改善点を指摘していただいたりして、授業力の向上を目指しています。授業の形を大きく変えるのではなく、これまでやってきた活動内容を「iPad を使うとできるのか？」と効果的な授業になるように考えました。

今年度は、「まずやってみる」「使ってみる」という視点で取り組みました。iPad を日常的に使い、子どもたちの学習がよりよいものにできるように、これからも研究していきます。また、学習を深めるための道具なので、子どもたちが適切な使い方ができるよう「使い方のルール」「情報モラル」等についても指導していきます。ご家庭でも、ICT 機器の正しい使い方についてお子様と話題にいただけると助かります。

5年生社会 米づくりの今後について

「米づくりのさかんな地域」で単元のまとめとして、これからの米づくりについて考えました。「これからの米づくりに大切なことは？」がテーマとなりました。従来は、発言や意見を書いた画用紙を黒板に貼るなどで意見交流していました。しかし、ロイロノートの機能である「共有ノート」を使うことで、児童の意見が手元で一斉に見ることができたり、似たような意見を分類整理できたりしました。従来の授業と比べて、考える時間を多く確保できたり、より多くの意見から物事を考えたりすることが可能になりました。

多くの児童が最も使い慣れているロイロノートを使った授業は、他学年にも多くあります。操作に慣れた高学年ならではの授業となりました。



1年生食育 給食の栄養を考える



Keynote（スライド作成アプリ）を使った食材の分類の学習給食で使われた食材を3つのグループに分ける活動でした。Keynoteのスライド上に食材の画像を配置し、児童がそれらの食材を分類していきました。Keynoteは編集機能を使用し、画像などに動きをつけることができます。視覚的に楽しく、分かりやすく授業を行うことを試みました。

1年生の実態に合った操作には課題が残るものの、1年生から6年生まで計画的にGIGA端末の操作を身につけさせる上で大切な実践となりました。

5年生音楽 和音の学習

ガレージバンド（音楽作成アプリ）とロイロノートを使った学習ロイロノートのカードに録音された和音を聴きながら、ガレージバンドのピアノを演奏する活動。ペアで音やリズムを工夫して、思いや意図をもったせんりつをつくりました。

コロナ禍により、鍵盤ハーモニカを使った学習に制限がある中で、一人一人が鍵盤を弾くことができるように工夫をした授業でした。

ガレージバンドの鍵盤の上には、音階が書かれた薄いシートを置くことで、苦手をカバーするようにした。GIGA端末の良さと、アナログのアイデアを組み合わせる新しい授業となりました。

